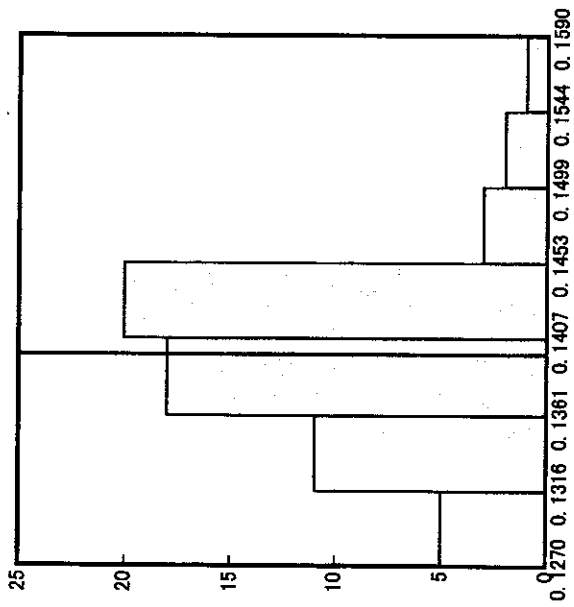


原データより得られたヒストグラム
と正規確率プロット



e-mail より得られたヒストグラム
と正規確率プロット

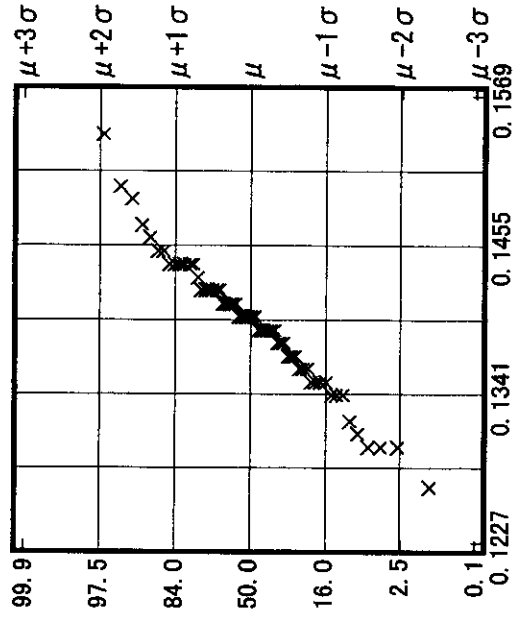
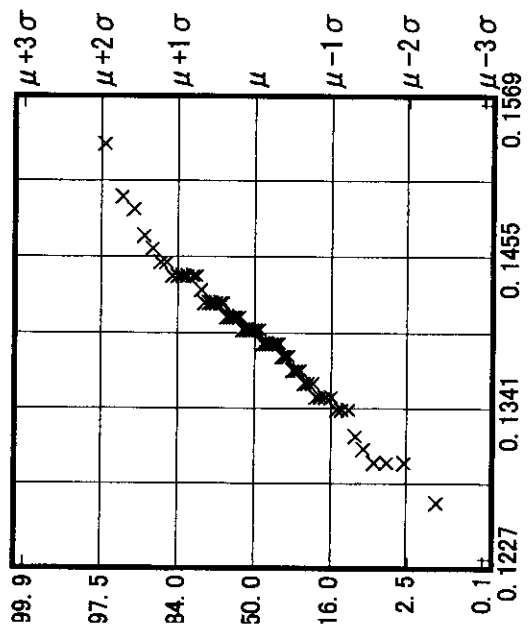
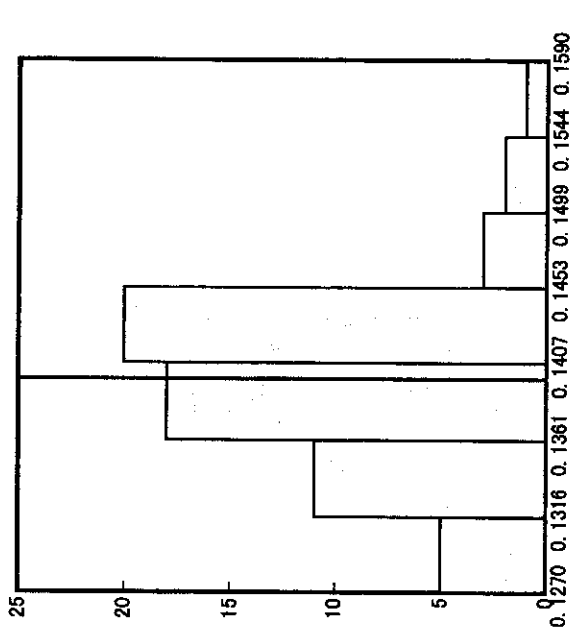
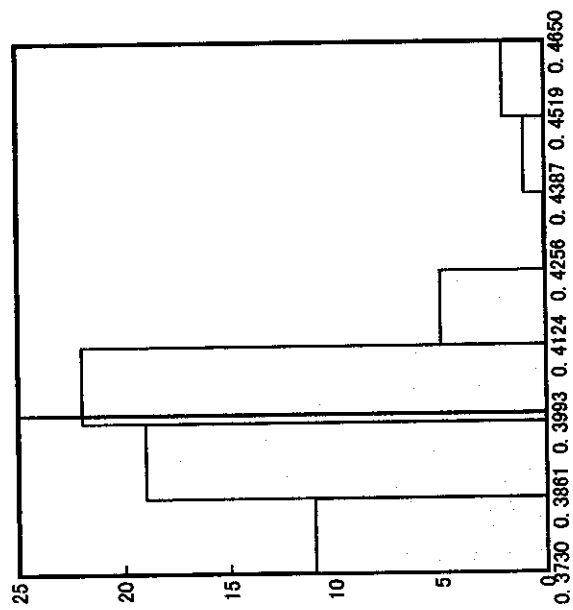


図2 原データ及び e-mail より得られたソルビン酸のヒストグラムと正規確率プロットの直接比較

原データより得られたヒストグラム
と正規確率プロット



e-mail より得られたヒストグラム
と正規確率プロット

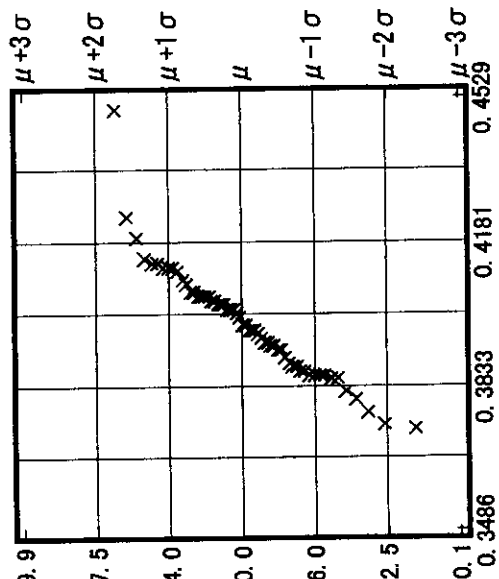
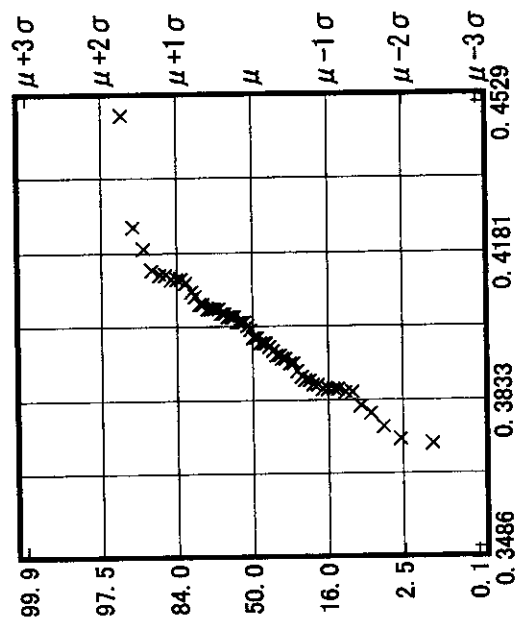
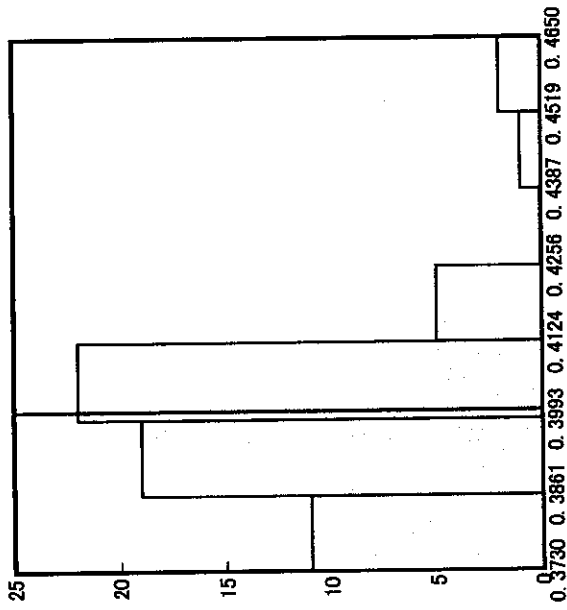
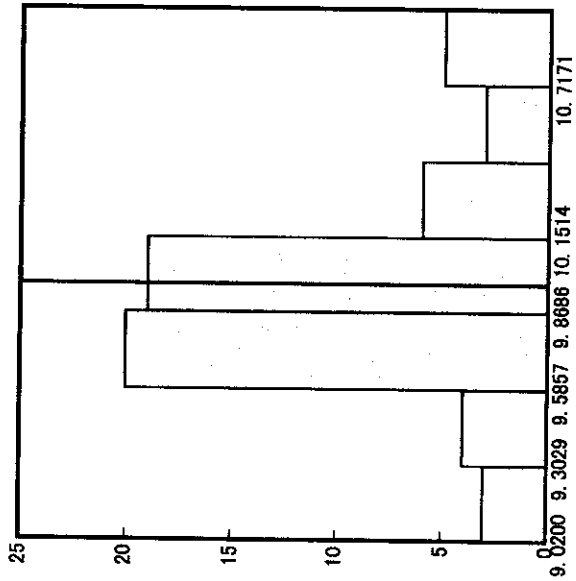


図3 原データ及び e-mail より得られたカドミウムのヒストグラムと正規確率プロットの直接比較

原データより得られたヒストグラム
と正規確率プロット



e-mail より得られたヒストグラム
と正規確率プロット

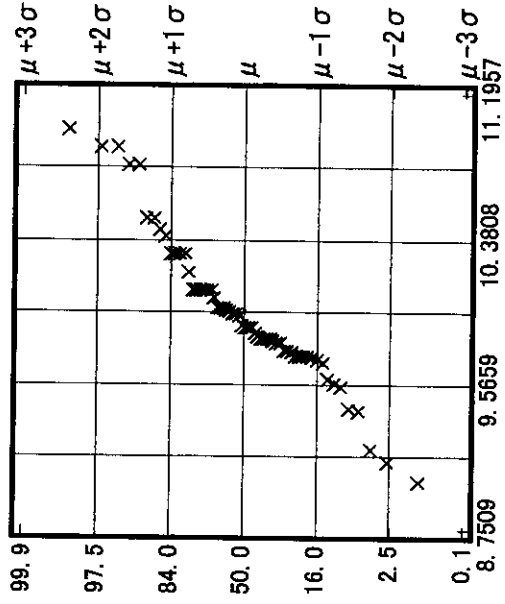
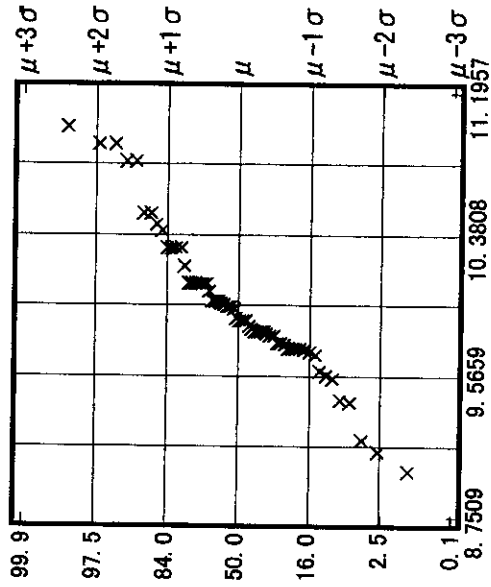
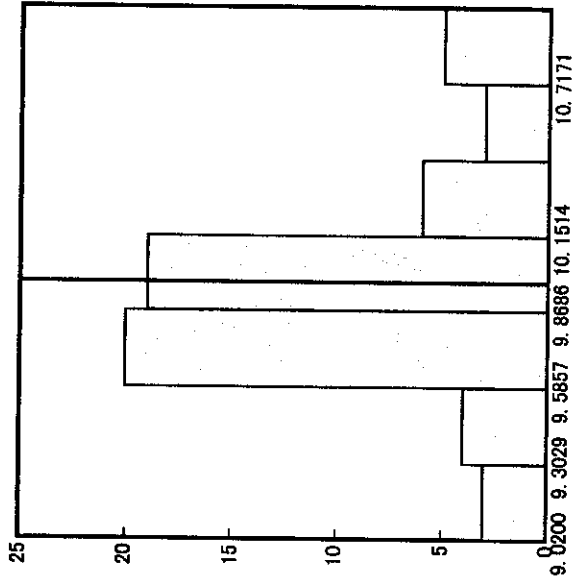


図4 原データ及び e-mail より得られた鉛のヒストグラムと正規確率プロットの直接比較

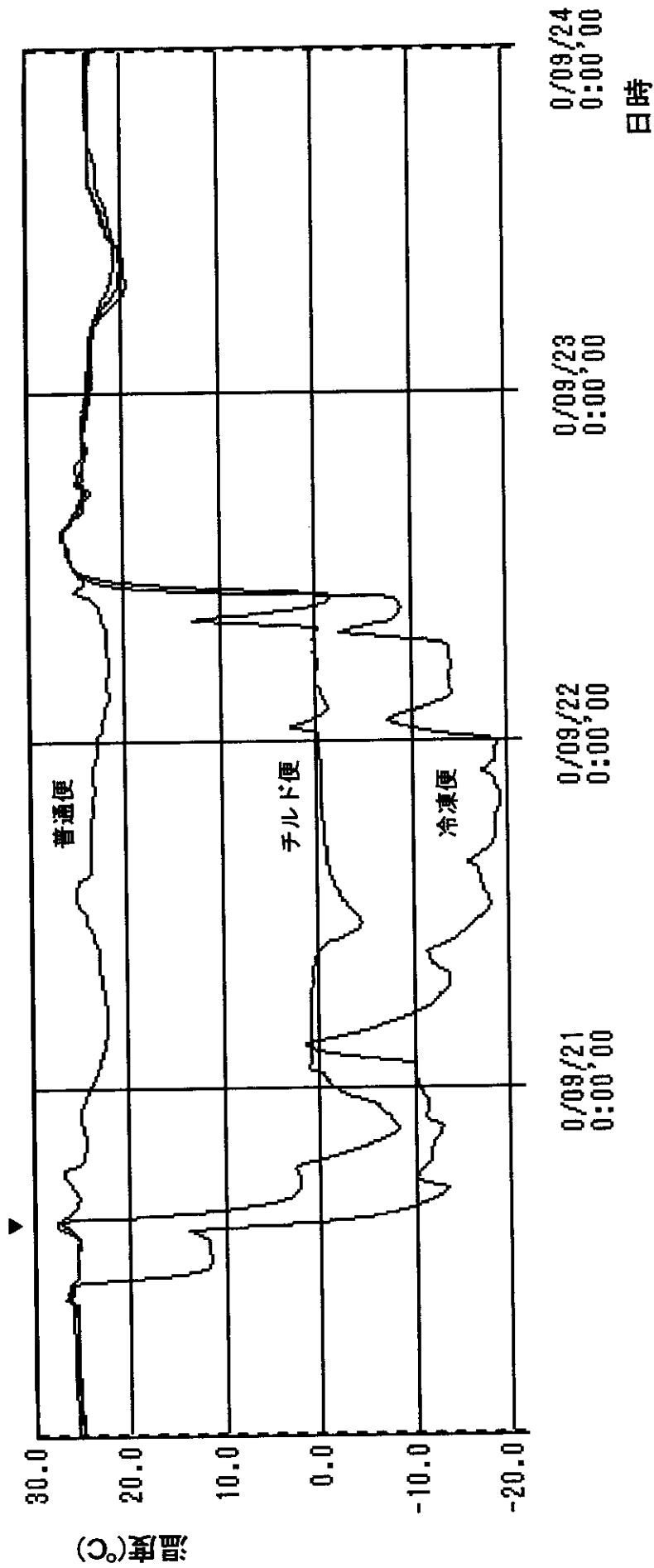


図5 北海道に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼ : 推定される発送時刻

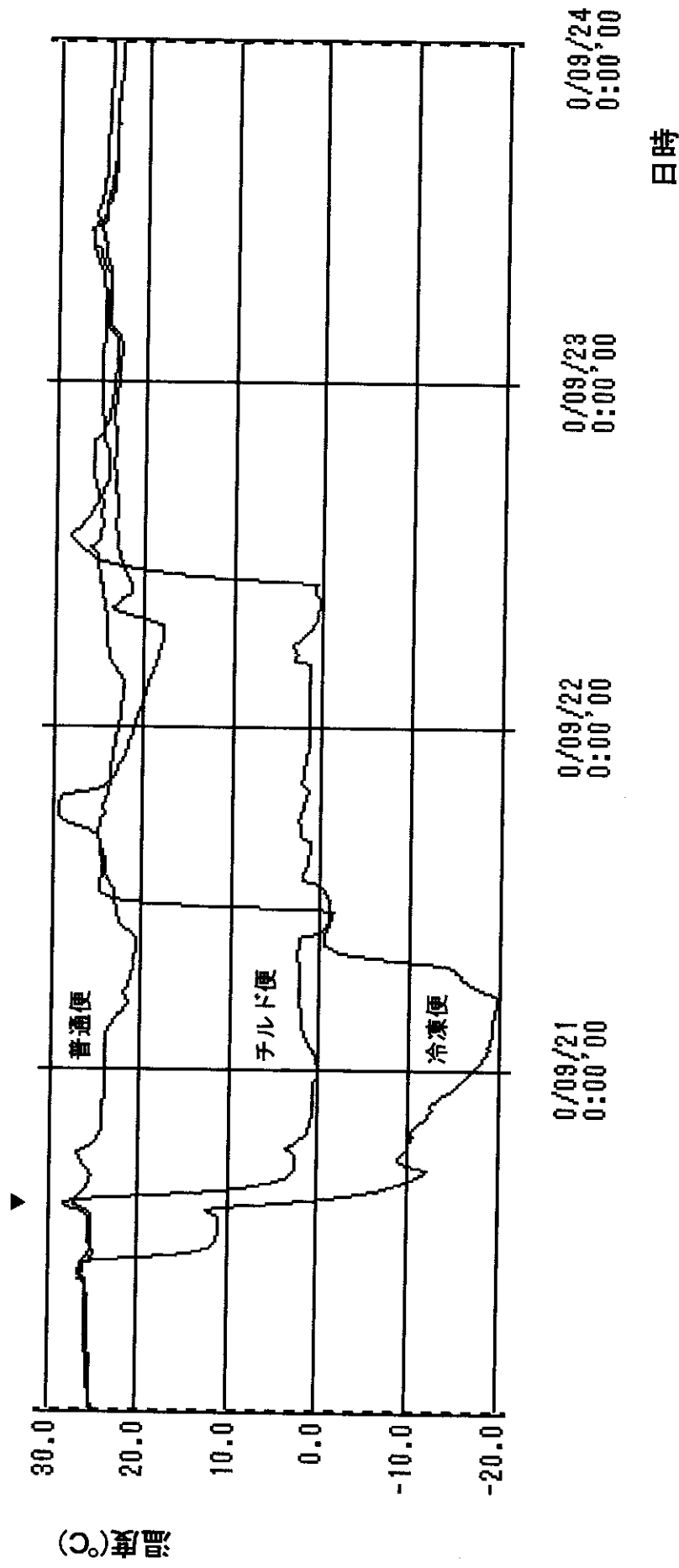


図6 山形県に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻

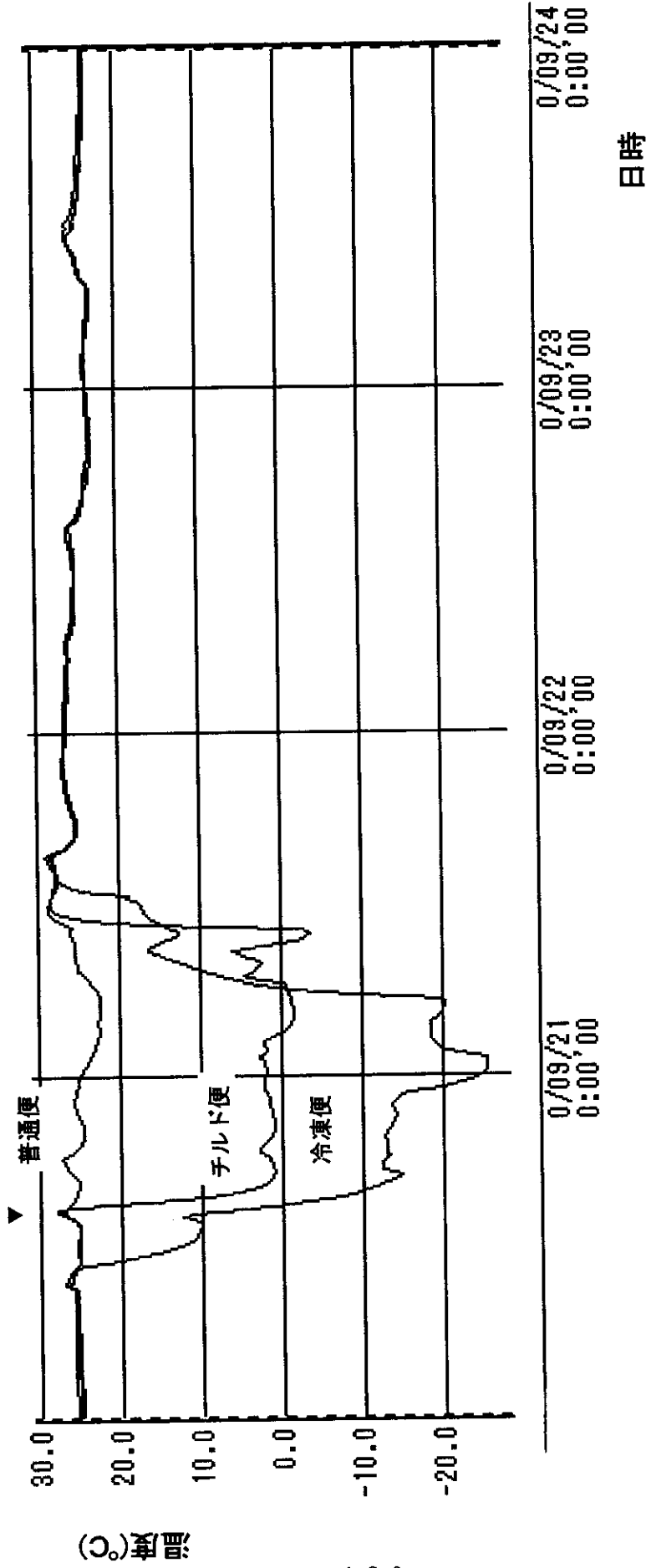


図7 東京都に発送した普通便、子ルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻

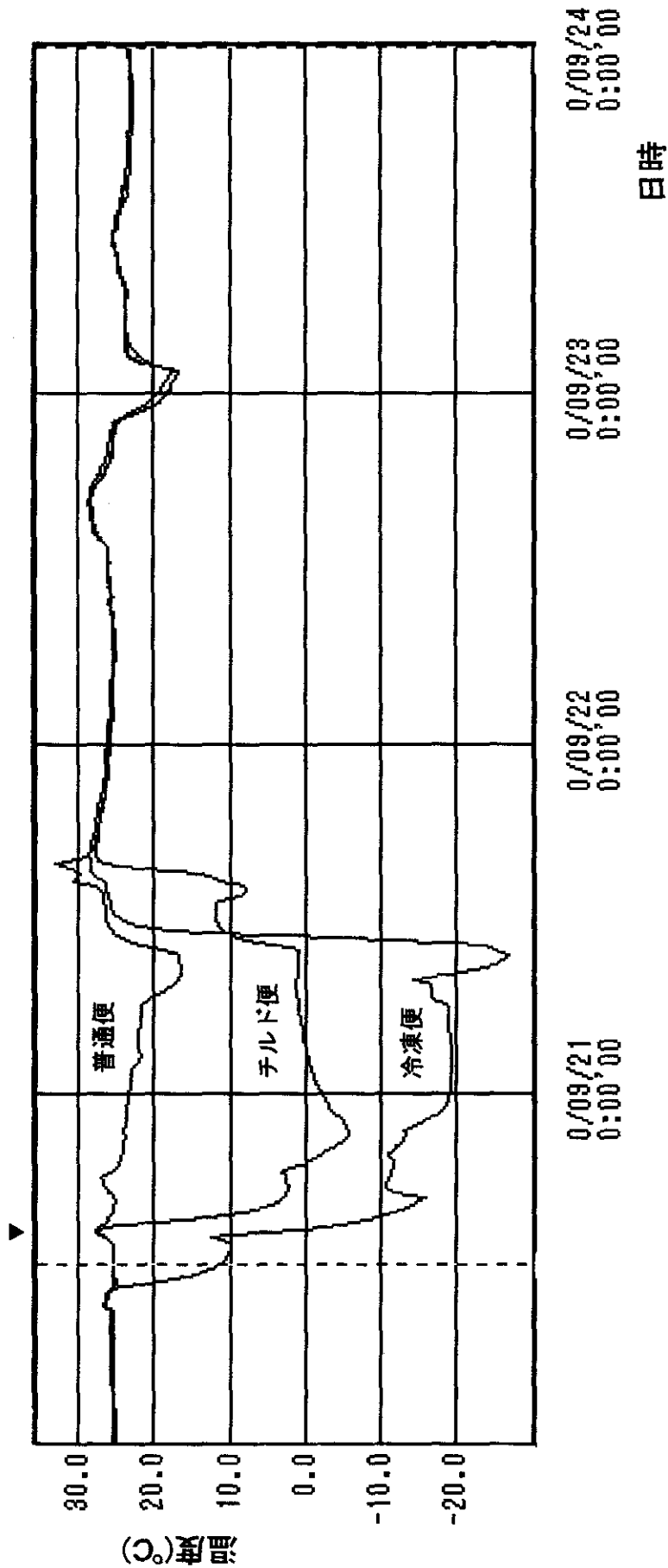
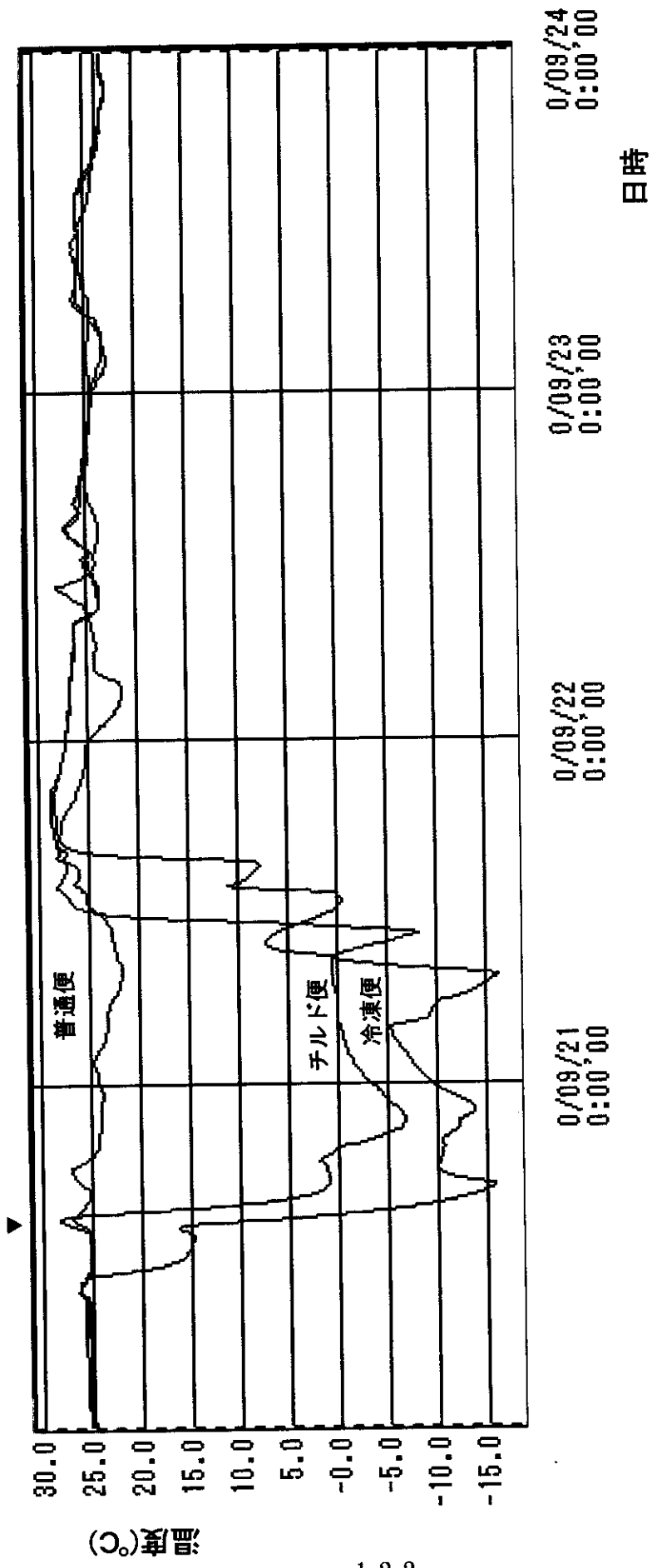


図8 石川県に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼: 推定される発送時刻



(C) 気温

図9 長野県に発送した普通便、チャルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻

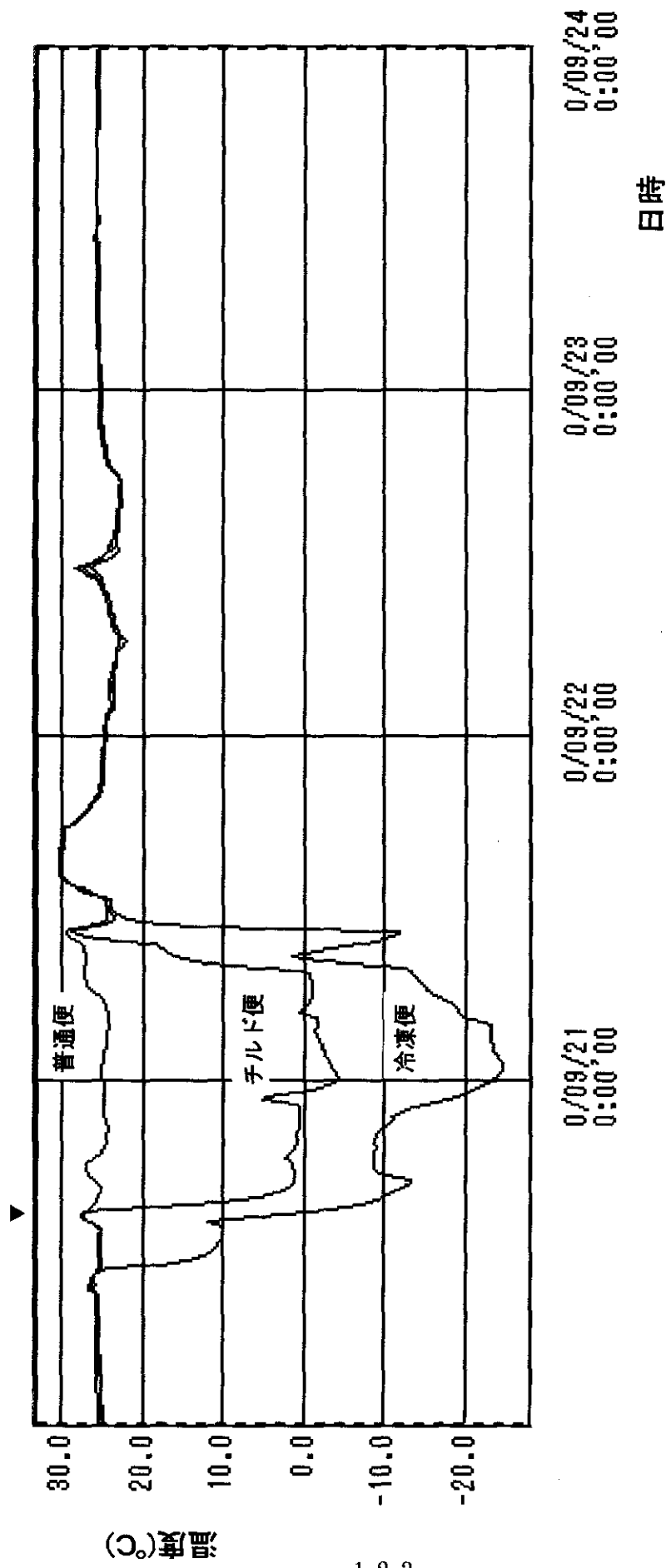


図10 愛知県に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻

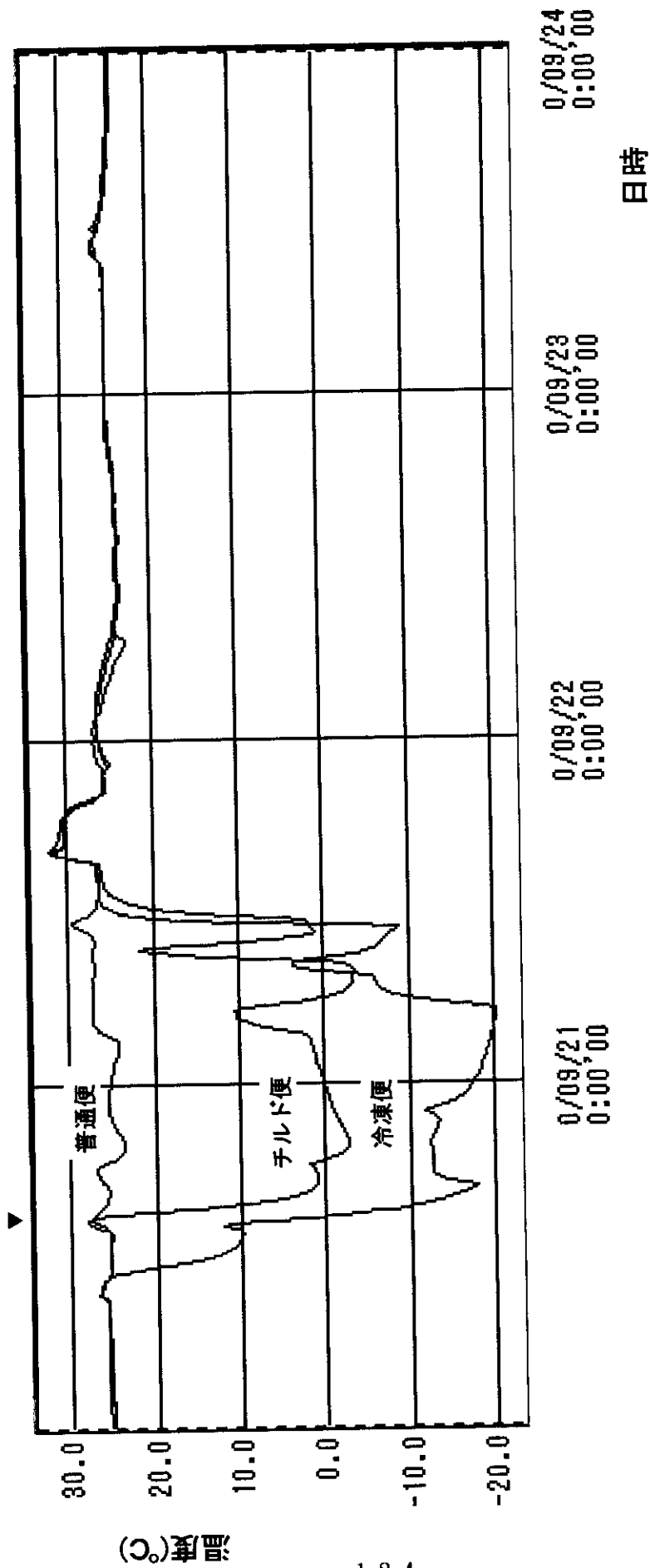


図11 大阪府に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻

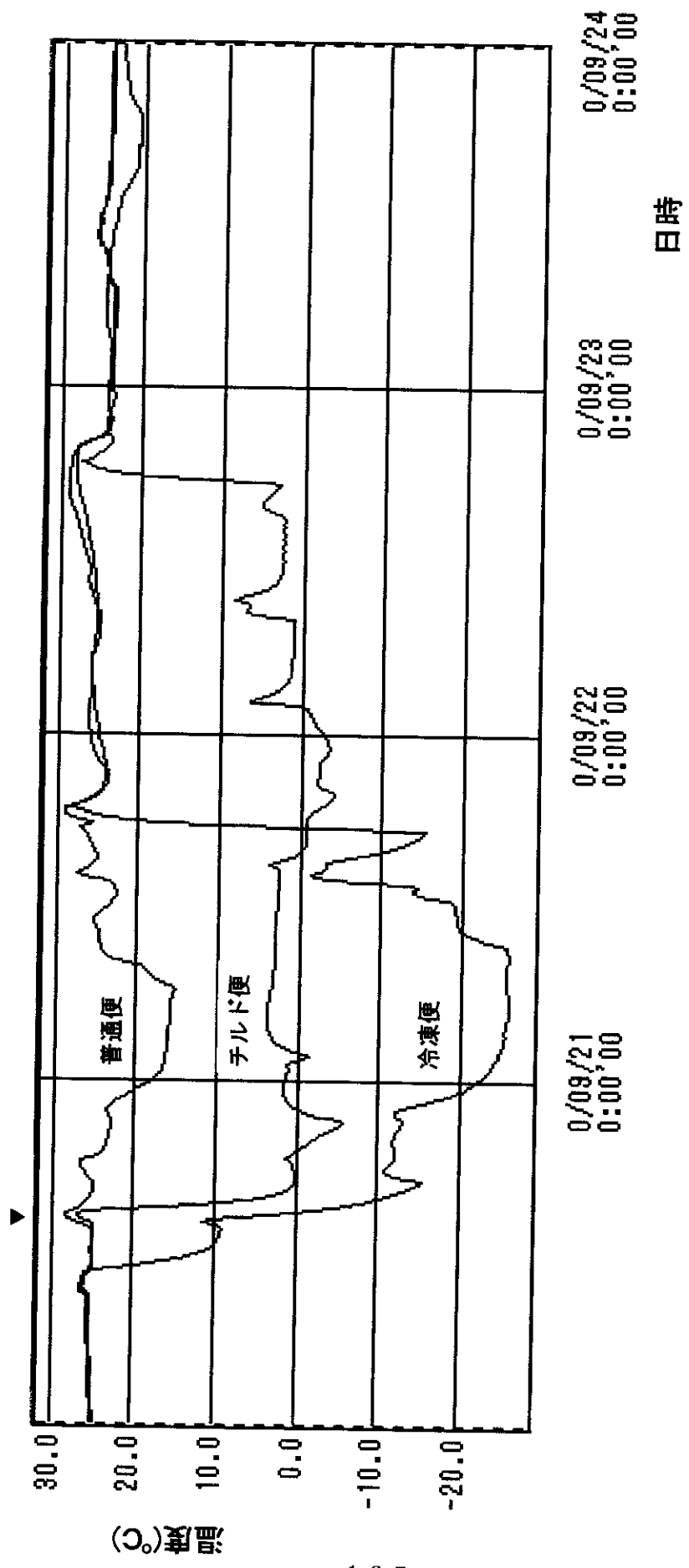


図12 高知県に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻

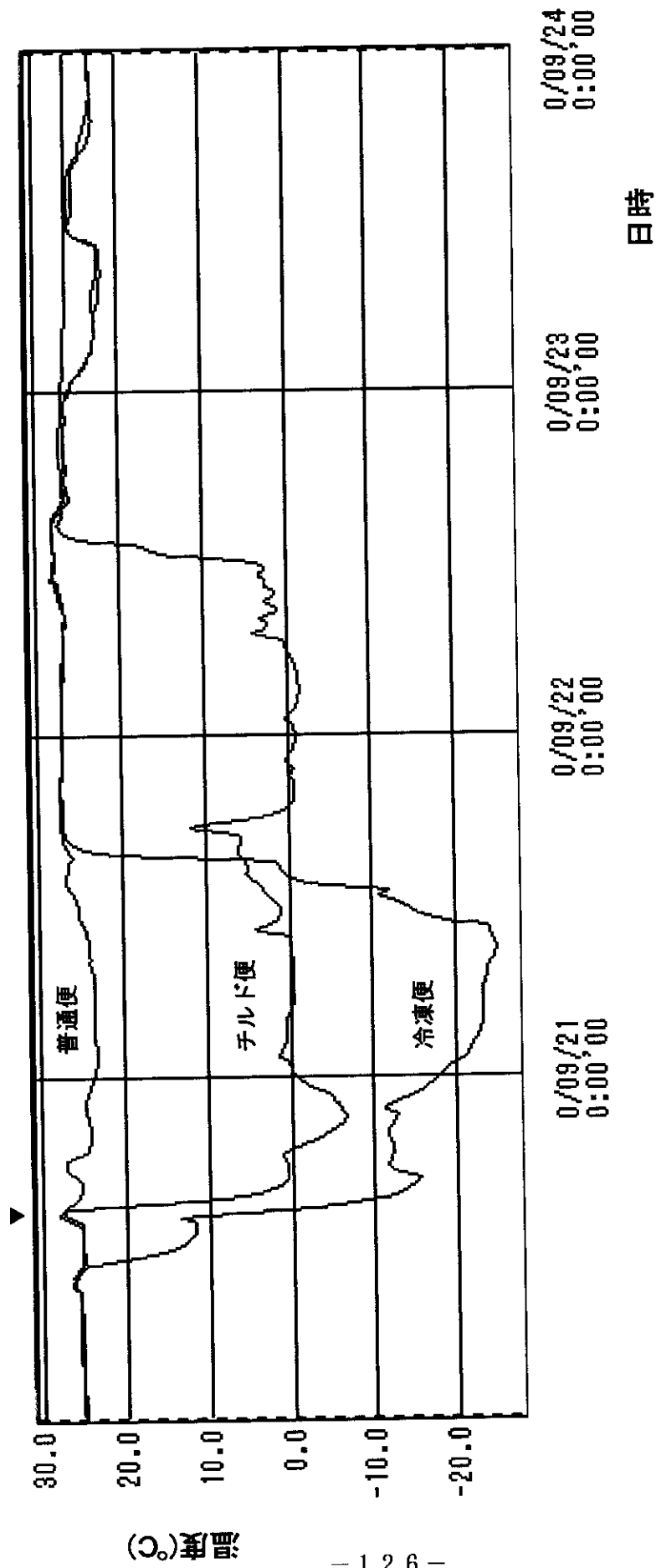


図13 福岡県に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻

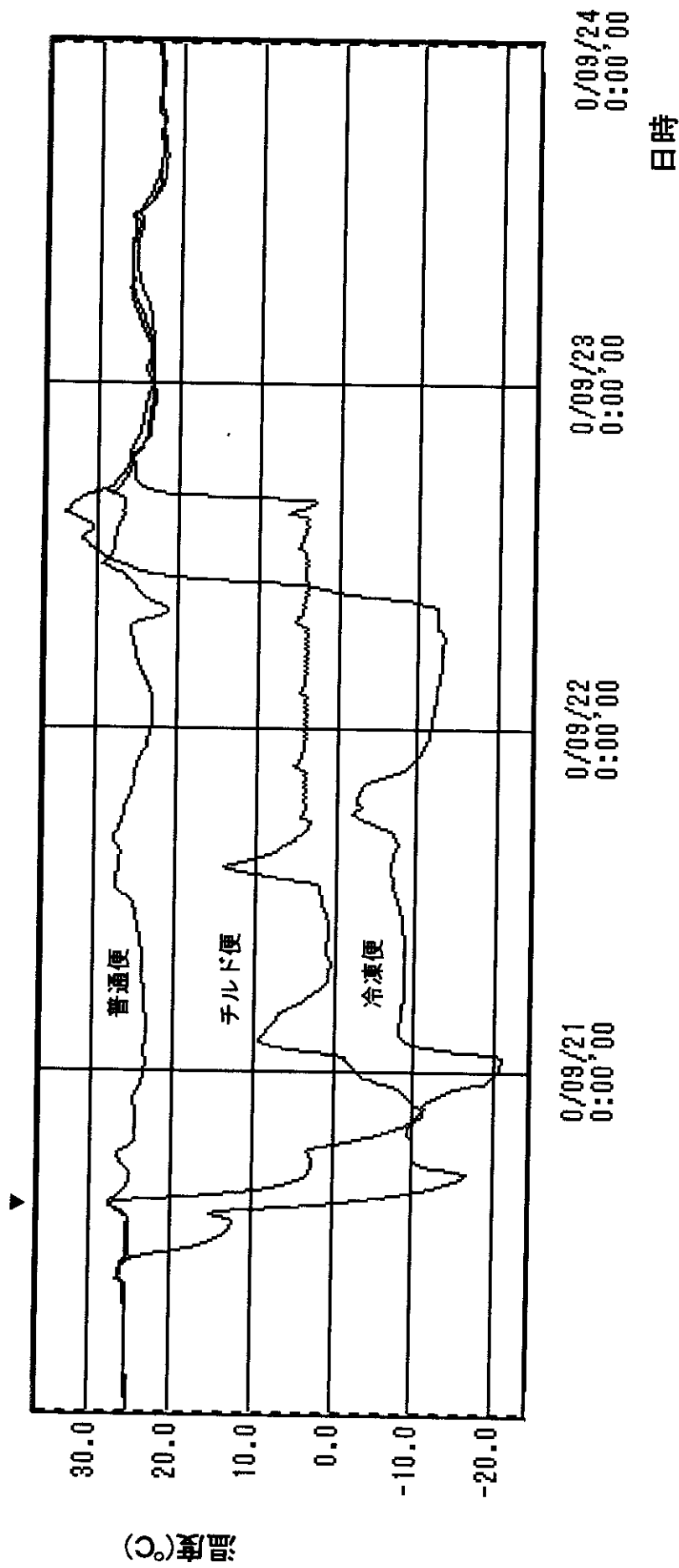


図14 沖縄県に発送した普通便、チルド便、冷凍便の温度の経時変化

▼：推定される発送時刻



食品薬品安全センター

当センターのご案内

食品衛生外部精度管理調査事業部

食品衛生外部精度管理調査の概要

事業部の組織概要

お問い合わせ・その他



**以下のコンテンツはパスワード入力が必要です
食品衛生外部精度管理調査・調査連絡**

食品薬品安全センター ヨセンシーツゴゴロ

設立の趣旨

現代文明と安全性

人類の長い歴史の中で、食べものやくすりの安全性についての知識は、さまざまな経験を重ねて生活の知恵として形づくられてきました。しかし、科学が急速に発展した現代においては、その様態に大きな変化が見られます。急激に発展した科学文明が有用性の追及に専念するあまり、安全性を吟味する科学の追隨を遅らせてしまった結果であり、いろいろな公害や重大な医薬品事故が起きました。

確かに現代生活では、身の回りのこまごまとしたものにまで科学の恩恵が及んでいます。科学の進歩には、今後も大きな期待が持たれますが、その実用にあたっては、有害な影響が発生しないよう十分な安全性についての検討が必要です。これは、人類が体験によって、学んだことです。化学物質の安全性の研究は、自然科学の広い分野にまたがった総合科学です。この研究はまだ若い学問ですが、現代生活の安全性を確保するために早急に発展させる必要があります。

わたしたちは、このような立場で安全性研究に取り組んでいます。財団法人食品薬品安全センターは、厚生省の指導の下初代理事長・奥田新三らの発想により、人類の健康と生命に直接関係の深い、食品・医薬品・その他の化学物質の安全性の確保に関する研究と調査を行う目的で、昭和45年12月に設立されました。

食品薬品安全センター

当センターのご案内

食品衛生外部精度管理調査事業部

食品衛生外部精度管理調査の概要

事務上の最新情報

当事業部からの連絡事項・その他

食品衛生外部精度管理調査・調査連絡

[トップページへ戻る](#)

食品衛生外部精度管理調査事業部

食品衛生外部精度管理調査事業部の概要

平成9年4月1日より施行された食品衛生検査施設のGLP制度に従って、検査結果の信頼性確保のための検査体制の充実と精度管理の徹底が望まれている。食品衛生法施行規則18条の2の2の第3号及び第18条の6の第3号ロには検査施設の精度管理について、並びに食品衛生法施行規則第18条の2の2の第4号及び第18条の6の第3号ハには外部精度管理調査について記されている。

当財団では、平成9年度より食品衛生外部精度管理調査実施機関として厚生省から具備すべき要件の適合の確認を受け、外部精度管理調査業務を実施している。

食品薬品安全センター

当センターのご案内

食品衛生外部精度管理調査事業部

食品衛生外部精度管理調査の概要

事務上の最新情報

当事業部からの連絡事項・その他



食品衛生外部精度管理調査・調査連絡

[トップページへ戻る](#)

食品衛生外部精度管理調査・調査連絡

平成12年度食品衛生外部精度管理調査の効率化に関する研究に御協力下さり有り難うございます。今年度は既に「輸送上の温度管理についての調査」はご協力いただき終了しておりますので、電子通信技術(インターネット及びe-mail)を用いたデータの回収及び統計解析の可能性の調査として「モデル連絡調査」そして「アンケート調査」を実施します。報告書の様式はこちらからダウンロードしてください。報告書の様式は、EXCEL95で供給されます。Sheet1は機関の個別情報の記入シート、Sheet2は検査結果(今回は当センターから予め郵送した架空のデータ)の記入シートです。各記入シートに御記入の上e-mailで返送してください。本調査に関して疑問点がございましたら下記へご連絡下さい。

住所: 〒257-8523
 神奈川県秦野市落合729-5
 TEL 0463-82-4751
 FAX 0463-82-9627
 e-mail ptfdsc@maple.ocn.ne.jp
 担当 内山貞夫、川崎勝

モデル連絡調査

モデル連絡調査は検査データの電子通信技術(インターネット及びe-mail)を用いたデータの回収及び統計解析の可能性とその問題点の調査を行います。平成12年度の報告書の様式(当センターのホームページよりダウンロードしてください)に入力後、e-mailで返送して下さい。何か問題が生じた時は、お手数ですがご記録の上e-mailで送って下さい。

報告書の様式は今後も使用することを考慮にいたって大きめになっていますので余りは空白にしてください。

保存料	物質1	→安息香酸のデータ記入欄
	物質2	→ソルビン酸のデータ記入欄
重金属	物質1	→カドミウムのデータ記入欄
	物質2	→鉛のデータ記入欄
残留農薬	物質1	→空欄
	物質2	→空欄
残留動物用 医薬品	物質1	→空欄
	物質2	→空欄
細菌数測定	物質1	→空欄
	物質2	→空欄
細菌同定	物質1	→空欄
	物質2	→空欄

輸送上の温度管理についての調査

今年度は終了しておりますので記入する必要はありません。

アンケート

今年度はお答えくださなくても良いですが何かご意見がありましたらe-mailでご意見をお寄せください。

食品薬品安全センター

当センターのご案内

食品衛生外部精度管理調査事業部

食品衛生外部精度管理調査の概要
事務上の最新情報
当事業部からの連絡事項・その他

食品衛生外部精度管理調査・調査連絡

実施要領
研究連絡
報告書の様式

[トップページへ戻る](#)

食品衛生外部精度管理調査・調査連絡**項目のリスト****報告書の様式DownLord**

microsoft Excel95ファイル形式です

項目	ファイル名	最終更新日	サイズ	備考	
sheet1.2.3	all.xls	00/2/28	23k	下の3つのシートを一つのエクセルファイルにしたもの	DownLord

食品薬品安全センター

当センターのご案内

食品衛生外部精度管理調査事業部

食品衛生外部精度管理調査の概要

事務上の最新情報

当事業部からの連絡事項・その他

食品衛生外部精度管理調査・調査連絡

実施要領

研究連絡

報告書の様式

[トップページへ戻る](#)

機関名		
代表者名	職名 氏名	
信頼性確保 部門責任者名	職名 氏名	
担当者名	職名 氏名	
郵便番号		
住所		
電話番号		
e-mail		
FAX番号		
コード番号		
その他		

今回の調査では、機関名、担当者名、e-mailのみ御記入ください。